

第2号報告の1

令和3年度事業計画

令和3年4月1日～令和4年3月31日

ここ数年の当協会会員の生産状況をみると

	生産量（千㎡）	
平成22年度	4,502	1.00
平成23年度	3,939	0.87
平成24年度	4,534	1.01
平成25年度	4,753	1.56
平成26年度	4,318	0.96
平成27年度	3,862	0.86
平成28年度	3,322	0.74
平成29年度	3,172	0.70
平成30年度	3,669	0.81
令和元年度	3,452	0.77
令和2年度	3,106	0.69

（支部からの報告に基づく生産量調）

となっている。

令和3年4月の月例経済報告(内閣府)は、「一景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さが見られる。— 先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。」としている。

令和3年度の公共投資は、当初予算と令和2年度補正予算が一体となって、災

害復旧や防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策が期待されるが、需給の減少傾向が続き長く低迷してきた当業界にとっては、引き続き厳しい経営環境に置かれる。

このため、社会資本の整備・充実の基礎資源である骨材の安定供給という社会的使命を果たすため、次の基本的考え方に立って、常に会員企業並びに業界の経営環境改善のために何をなすべきか、ということ念頭において、事業の実施に努めていくものとする。

- I 重要かつ急務となっている当業界の経営環境の悪化対策並びに骨材の安定供給対策をにらみ、随時起こりうる差し迫った具体的案件・事案等を受け止めて行動する。
- II 会費収入に応じて、事業の実施方法等を工夫することにより、支出の縮減に努めるものとする。

1 講習会開催事業

砂利碎石採取加工業の事業展開に必要な技術者の確保及び資質向上を図るため、講習会を開催する。

- ア 採石業務管理者試験事前講習会
- イ 砂利採取業務主任者試験事前講習会
- ウ 採石のための掘削作業主任者技能講習会

2 調査研究普及事業

(1) 要望活動事業

国民生活に不可欠である骨材の安定供給を図るため、資源の確保、経営基盤の安定強化等について、当面する具体的課題を集約して、関係行政機関及び関係団体に要望及び建議を行う。

特に、経済調査機関との意見交換は継続的に実施していく。

(2) 調査研究事業

砂利碎石採取加工業界等の活動の指標とするとともに経営の進歩向上、労

働災害の防止等に資するため、統計調査を実施するとともに関係機関及び関係団体と協力して、建設経済動向、経営及び労働災害等に関する定例及び随時調査を実施する。

(3) 情報収集提供事業

砂利碎石採取加工業界の経営基盤の安定強化を図るため、中央の行政動向、新技術及び骨材需給等の情報収集を行うとともに、地元関連団体との情報交換、ホームページ等による情報提供を推進する。

(4) 労働災害防止事業

法令の遵守及び災害の発生を防止するため、新潟県と合同の立入検査を実施するとともに、関係機関及び関係団体と協調して、労働災害防止思想の普及啓発を図る。

3 福利厚生事業

- (1) 会員の福利厚生事業として、不慮の事故の救済を目的としたグループ保険事業を実施する。
- (2) 会員相互の親睦を図るため、一般社団法人新潟県ダンプ協会と合同による親善ゴルフ大会を開催する。